



【 「緑の里から」(南砺市の歌) を口ずさむ子供 】

○ ある日の下校時、校長室にいますと、校庭から「緑の里から」(南砺市の歌) を口ずさむ数人の子供の声が聴こえてきました。けっこう大きな声で、やや響いていました。私は、それを聴いて、「南砺市の歌が好きなんだな。」「南砺市の歌に思い入れがあるんだな。」と思いました。

○ 平成16年11月に南砺市が誕生し、合併5周年を記念してつくられた「緑の里から」。私個人としても、大変大好きな歌です。私が「緑の里から」をともに初めて聴いたのは、平成23年に市内の小学校の初任教頭となった時でした。軽快で歌いやすく、歌詞も自然、文化や伝統が融合され、心に響くというのが第1印象でした。しかも、歌に合わせて踊る運動も、心地よいものでした。このような「**緑の里から**」こそ、**南砺市の宝**であり、今後も子供たちが気軽に口ずさむようになってほしいと思います。

○ 本校では、下校時に、「緑の里から(南砺市の歌)」と「ふるさとの歌(富山県ふるさとの歌)」の曲を交互に流しています。どちらも「**ふるさと**」を愛する心をもってほしいと願ってのことです。今後も、さらに工夫していきたいものだと思います。

何百年 歴史と文化 引き継いで来たんだらう

今まで守り育ててきた 大切なものがある

山の風 川の音 出会う人 みんな宝物だよ

.....

手をたずさえて歩んできた 仲間の絆がある

今日も迎えてくれる笑顔 幸せがここにある

街並みも 優しさも 時代変わっても 変わらずいるよ

.....

祭りに合掌造り こきりこ 麦屋のしらべ

さがけて 緑の里から 世界へ

南砺市のまちを守ってゆこう

みんなで力合わせながら ひとつになって

南砺市と共に歩んでゆこう

みんな一緒につくるまちで 未来めざそう 南砺市



「緑の里から」を歌う3年生